# 教育委員会報告

					令和7年1月14日				
件	名	学	校施設個別計画の今後	<b>後の改訂方針につ</b>	いて				
所管部課名		学校運営部 学校施設管理課							
		施設営繕部 中部地区建設課							
		寿命	可型改修計画)」(以 トを以下のとおり報告	下「計画」という	記の個別計画 (足立区版長 。) について、今後の改訂				
		<ul> <li>1 現行の計画期間</li> <li>(1)計画全体         令和3年度から14年度まで(12年間)</li> <li>(2)実施計画         令和3年度から10年度まで(8年間)</li> </ul>							
	容			H29~R6 年度	R7~R18 年度				
			足立区公共施設等	【8年】	【12 年】				
			総合管理計画	【旧】 40 年計画·第1期	【新】 12 年計画・8 年毎見直し				
			足立区学校施設の 個別計画	R	3~14 年度 【12 年】				
内				実施i					
		総合管理計画の 改訂を受けて見直し  2 今後の改訂方針  (1) 上位計画の「足立区公共施設等総合管理計画」に従い、学校施 設のさらなる長寿命化を図る。  (2) 「建物があと何年程度、安全に使用できるか」を把握するため、 外部機関による「耐用年数評価」を実施する。							
		(3) 「耐用年数評価」の実施結果を受け、改築・改修計画を定めた							
		<u>「実施計画」の見直し</u> を行う。   (4)国や都、他自治体の動向を注視し、学校の標準の規模や設備、							
					暑さ対策の状況等の最新技術や知見を適宜計画に反映させる。				

## 3 耐用年数評価について

## (1)目的

建物の状態を把握し適切な時期に修繕を行うことで、建物の寿命を延ばし、安全性を担保しながら予算の平準化をはかる。

# (2) 評価方法

建物のRC構造物の一部を採取し、専門家によって劣化状況を 詳しく調べ、その結果から、当該建物があと何年程度使用できる か有識者による耐用年数評価委員会が評価する。

## (3) 評価対象校の選定

ア 現計画で定めた耐用年数「築後65年」に近い学校

イ 平成20年前半に大規模なリニューアル工事を行い、内外装 や設備等を一新した学校

小学校	中川小 ( <b>H22</b> )	
	第十四中【S39 年築(築後 60 年)】	
中学校	第四中(H21)、第九中(H22)	
	東島根中(H25)、第十二中(H25)	

※ () 内はリニューアル工事を実施した年度

## (4) 評価後の対応

耐用年数評価により、長期期間延長可能となった場合は、<u>当面</u> 20年程度を目安に改築時期を延長する。

## 4 計画改訂の今後のスケジュール(予定)

時期	内容	
令和7年 3月	「公共施設等総合管理計画」改訂	
4月	「耐用年数評価」委託契約の締結	
11月	「耐用年数評価」完了(評価対象6校)	
12月	実施計画(案)作成	
令和8年 1月	実施計画(案)案を報告(文教委員会)	
4月	改訂した実施計画の公表	